

次年度の学校経営について考える「学校教育目標の具体化」

学力向上の実現や生徒指導上の課題克服のために、まずは、全職員で一丸となって教育活動を展開する体制づくりが必要です。本号では、学校教育目標の具体化を図り、課題解決に取り組む学校づくりについて紹介しています。次年度の学校経営方針策定やマネジメントサイクルの編成にお役立てください。

【学校運営について次のような課題が見られませんか？】

- ・学校運営方針について、全職員の共通理解が不十分。このため、個々の目標設定も曖昧。
- ・学校評価が学校改善のために有効に機能しておらず、学校が目標達成型の組織になり得ていない。
- ・学校教育目標に対する検証がうまくいっていない。
- ・全職員に達成感や充足感を得られにくい状況がある。具体的な目標や取組の設定が必要ではないか？
- ・学校関係者評価委員から、学校評価の項目が抽象的で、評価が難しいとの意見があった。

学校教育目標や経営方針は、より具体的に。また、教育目標達成に向けた取組は、**評価可能**で具体的なものになっているか確認しましょう！【目標・取組の具体化、数値化】

「重点目標」「達成指標」、具体的な「取組内容」を、年度始めに設定し、**学期毎に振り返りながら、学校教育の質の向上を図ります。**

例)

【重点目標】

あいさつができる子供の育成

【達成指標】

年度末保護者評価の肯定的な回答90%以上

【取組内容（重点取組＋取組指標）】

- 毎朝2人以上の教員が、校門であいさつ運動を行う。
- 毎週金曜日の全学級の帰りの会であいさつができた子供をほめる。

- 重点目標(焦点化)は、学校の喫緊の課題に対応させます。
- 取組指標は、「誰が」「何を」「どのくらいの頻度で」行うか、可能な限り明確にします。



例)

【重点目標】

確かな学力の育成

【達成指標】

到達度評価問題（算数）の到達率を80%以上

【取組内容（重点取組＋取組指標）】

- 全教員が学期に3回以上の互見授業を実施
- 参観者は学期に3回以上、「めあて—まとめ・振り返り」チェックリストに基づき参観
- 年間5回の提案授業を設定し、「めあて—まとめ・振り返り」を意識した授業づくりが進んでいるか分析し、全員で改善方を協議する。

学校教育目標を実現するマネジメントサイクル

